



好学愛知
自律敬愛
質実剛健

鶴鳥イ言

鶴丸高校がつなぐ「人」

2学年主任 稲森成智

6月28日から30日までの2泊3日で今年度の2学年修学旅行が実施された。実施期間が例年よりも1、2週間早く梅雨と重ならないか心配されたが、幸いにも好天に恵まれて、参加者全員が体調を崩すことなく無事に帰ってこられたことにまずはほっとした。

修学旅行は鎌倉のクラス別研修から始まり、GO鶴セミナー、東京デイズ二ニシー、東大訪問、東京散策というコースで3日間にわたって実施された。初日には、空港で搭乗するJAL機に卒業生の機長と客室乗務員が同乗するというサプライズが用意されていた。羽田空港に到着すると、まるで私たちが歓迎しているかのような素晴らしい天候で、順調なスタートを切ることができた。鎌倉では高徳院の大仏の前で記念撮影を行い、その後、クラス別研修に出発した。江ノ島や水族館など、クラス毎に訪問先が異なり、それぞれの特色が表れた研修になったようだ。

2日目は修学旅行の柱とも言えるOB・OGの職場訪問である「GO鶴セミナー」が行われた。昨年度に引き続き、コロナ禍の影響で生徒を受け入れていただけの心配が心配されたが、今年は36社もの事業所にご賛同をいただいた。受け入れ先が5月下旬に決定し、生徒たちは当日の訪問当日に向けて挨拶のメール作成、日程調整、事前の質問作成などの準備を入念に行ってきた。当日は朝食の時から緊張した面持ちだったが、事業所訪問の後、満足げな表情でデイズ二ニシーに到着した様子から、貴重な経験ができたことがうかがえた。

修学旅行後のアンケートには「仕事をすることの大変さ、複雑さ、楽しさ、やりがいなど様々な側面を学ぶことができた。これまで関心を持っていなかった分野に踏み込むきっかけとなる素晴らしい機会だった。」

9月の行事予定

| 日 | 曜 | 行事等 | 校時 | 時間 | 学年 |
|------|---|------------------------------------------|-----|------|----|
| 9/1 | 金 | 開校記念 | | | ○ |
| 9/2 | 土 | 修学旅行(1年のみ(1年2泊3日+1泊2日) 全学年(2年)) | | | × |
| 9/3 | 日 | | | | × |
| 9/4 | 月 | 学年総会 | 5分 | | ○ |
| 9/5 | 火 | 3年実力考査(時間調整) | | | ○ |
| 9/6 | 水 | 体育祭予行(雨天時本場調整) | | | ○ |
| 9/7 | 木 | 体育祭予行準備日 | | | ○ |
| 9/8 | 金 | 開校記念 学校安全の日 | | | ○ |
| 9/9 | 土 | 前75回林業祭(雨天時雨の降る場合は休校) | | | × |
| 9/10 | 日 | 体育祭予行(雨天時雨の降る場合は休校) | | | × |
| 9/11 | 月 | 体育祭本場 | | | × |
| 9/12 | 火 | 実力考査(3年) | | 3年考査 | ○ |
| 9/13 | 水 | 実力考査(3年) | | 3年考査 | ○ |
| 9/14 | 木 | | | 本場調整 | ○ |
| 9/15 | 金 | 開校記念 | 45分 | | ○ |
| 9/16 | 土 | | | | × |
| 9/17 | 日 | | | | × |
| 9/18 | 月 | 敬老の日 | | | × |
| 9/19 | 火 | 修学旅行(7/21の入れ替え) | | | ○ |
| 9/20 | 水 | 修学旅行(7/24の入れ替え) 5C乗組(鹿児島 先発 13:30~17:30) | | | ○ |
| 9/21 | 木 | 修学旅行(7/25の入れ替え) 5C乗組(大島 先発 13:30~16:30) | | | ○ |
| 9/22 | 金 | 修学旅行(7/26の入れ替え) | | | ○ |
| 9/23 | 土 | 秋分の日 | | | × |
| 9/24 | 日 | | | | × |
| 9/25 | 月 | 新前期式典、大規模 1・2年実力考査(時間調整) | | | ○ |
| 9/26 | 火 | 秋季休業日 | | | × |
| 9/27 | 水 | 秋季休業日 | | | × |
| 9/28 | 木 | 秋季休業日 | | | × |
| 9/29 | 金 | 秋季休業日 | | | × |
| 9/30 | 土 | | | | × |

「実際に企業を訪れて話を聞くということ、普段なかなかできないことであり、非常に多くの学びがあった。」といった感想があり、ほぼ全員がさまざまな形で刺激を受け、大きな充実感を抱いたようだ。この企画は生徒たちの人生観や進路決定に大きく影響を与えているものであるため、今後も続けていくことが望ましいと心から感じた。

最終日は、東京大学の訪問や東京散策が行われた。今年の大学訪問では、本校OBを通じて5つの講義が開講され、講話や研究室訪問により専門的かつ最先端の学問の研究に触れる貴重な機会となった。また、本校OBの現役東大生8人による学内見学も行われ、実際の大学の雰囲気や味わうことができた。最近、中高生の職場体験や大学生のインターンシップといった企画が増えているが、GO鶴セミナーをはじめとした今回の企画は、これらとは全く異なる魅力があると感じる。なぜなら、単に会社の概要や社会を知るだけでなく、鶴丸という学校を通じて、先輩と後輩が多くの思いを共有できる貴重な企画だからだ。改めて、本校にとつての財産は「人」ということを再確認できた。

この修学旅行には多くの先輩方が協力してくださっており、そのお力添えなしでは成り立たないものばかりであった。何年後になるかはわからないが、いずれ君たちが先輩に自分たちの経験を伝える番がくることだろう。先輩方のような「人」になるためには、高校時代に何をすべきか、この修学旅行を通して少し考えてみてはどうだろうか。

最後に、東京鶴丸会を始め、これまで準備から実施に至るまで、御尽力くださった旅行者、職員、生徒、保護者、全ての関係者皆様様に感謝申し上げます。



1学年東京大学見学ツアー

先輩の姿に学ぶ

7月28日(金)から7月30日(日)の3日間、1学年希望者24名で東京大学訪問を実施しました。酷暑のため、予定していたキャンパス見学ツアーが直前に中止になるというアクシデント等がありました。充実した訪問ができたのではないかと思います。



前期クラスマッチ

選手・役員に汗光る

7月20日(木)、7月21日(金)の2日間にわたり、前期クラスマッチが開催されました。当日は大きな天候の崩れもなく、生徒会役員と係の生徒の尽力のもとで、全校生徒が各競技に全力で取り組み、爽やかな汗を流していました。各競技の結果は下記の通りです。

| 男子バレー | | 女子バレー | |
|---------|------|---------|------|
| 1位 | 26R | 1位 | 22R |
| 2位 | 28R | 2位 | 31RA |
| 3位 | 36R | 3位 | 13R |
| 男子バスケット | | 女子バスケット | |
| 1位 | 35R | 1位 | 35R |
| 2位 | 27R | 2位 | 23RA |
| 3位 | 34RA | 3位 | 33R |
| サッカー | | ドッジボール | |
| 1位 | 22R | 1位 | 15R |
| 2位 | 33R | 2位 | 26R |
| 3位 | 25R | 3位 | 28R |
| 卓球 | | | |
| 1位 | 38R | | |
| 2位 | 37R | | |
| 3位 | 32R | | |



↑発行時の予定です。変更にご注意ください。

1・2学年進路講演会

正解のない未来へ

7月7日(金)7時目には、1学年・2学年の進路講演会がそれぞれ実施されました。1学年は講師に毛利美佳先生(学校法人河合塾西日本営業部長)をお迎えし、「昨日の自分に克つて正解のない世界に漕ぎ出す君に」をテーマに御講演をいただきました。豊富な進路指導経験と受験データをもとにしたお話を聞いて、生徒たちは自らを見つめ直し、今後迫る文理選択に向けて思いを新たにしています。



↑毛利先生の御講演
←質問する生徒の様子

2学年は、東京大学大学院工学系研究科長・工学部長の加藤泰浩先生を講師にお迎えし、「みんなが未来を拓いていこう」というテーマのもと、ご自身の南鳥島レアアース泥についての研究や東京大学工学部の最先端の研究内容について御講演をいただきました。さまざまな学問分野を横断して新たな技術の開発に挑む先生の姿に、理系だけでなく文系の生徒も強く関心を持ち、お話を聞き入っていました。講演終了後には多くの生徒からの質問も飛び交い、非常に活気溢れた時間となりました。

講演会の感想文の一部を紹介します。

いつもとは違う世界が見えた気がした。さまざまな研究者の紹介では自分の全く知らない研究だらけでワクワクした。そのような世界に出たい研究できている人々をうらやましく思った。自分も興味湧く世界に出会うためにも勉強しようと思った。

もちろん、その分野に興味がないと研究できないだろうが、加藤さんの話から、資源を獲得して日本借金を未来の子供たちに背負わせたくないという思いや、資源の取り合いをなくして戦争のない平和な世界を築きたいという思いから、世の中のために努力していることが伝わってきた。また、研究が世の中に与える可能性の大きさを感じた。

夢が広がる話をありがとうございました。